

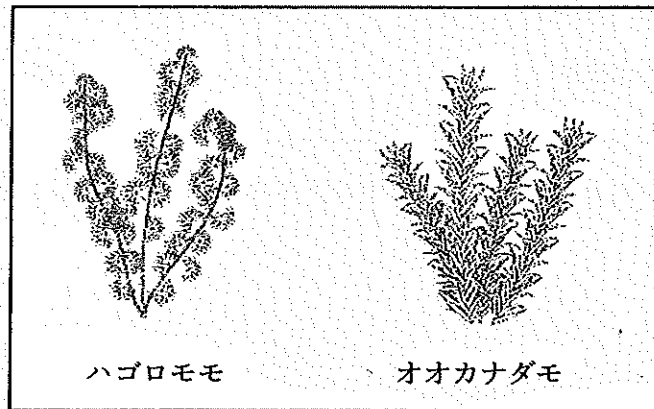
家庭学習プリント【5年理科 No.8 生命のつながり(2)メダカのたんじょう】(教科書 p.44~48)

5年()組()番 名前()

○ メダカのとまごの变化《P.44~48 参照》

1 メダカの飼い方を調べ、まとめましょう。

- ① 水そうの底に、水でよくあらった()をしく。
- ② () (1日くらい置いたもの)や、()
を水そうに入れる。
- ③ たまごがつきやすいように、()を入れる。

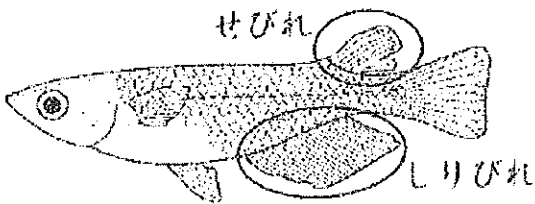
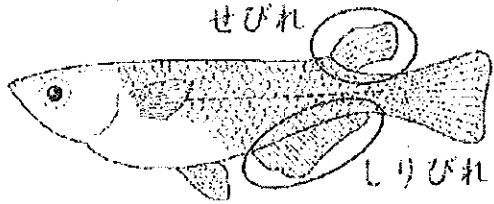


- ④ メダカ用のえさをあたえる。そのとき、()が出ないくらいの量にする。
- ⑤ 水がにごったら、()^{ていど}程度の量の水をくみ置きの水ととりかえる。

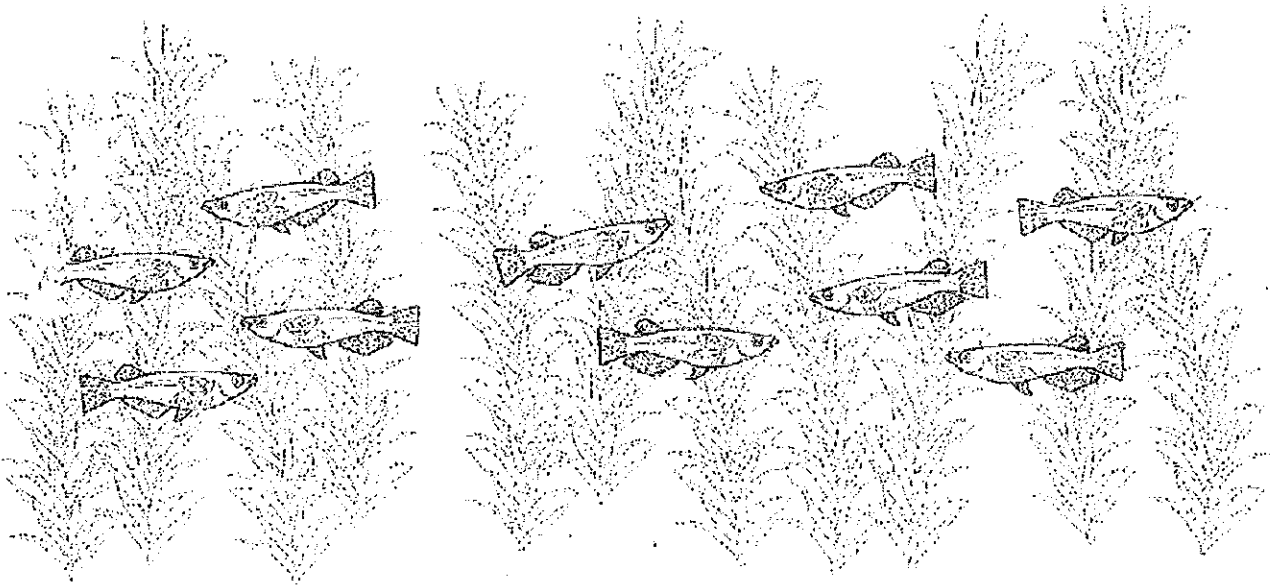
※メダカを飼うときに気をつけるべきポイントを、教科書で調べて書きましょう。

2 メダカのおすとめすは、せびれとしりびれに注目すると、見分けることができます。

おすとめす、それぞれの体の^{とくちよう}特徴を、教科書P.47「メダカの見分け方」を参考にして調べ、まとめましょう。

メダカの形	<p>おす</p> 	<p>めす</p> 
見分け方	<ul style="list-style-type: none"> ・ せびれに切れこみが ()。 ・ しりびれのはばが ()。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ せびれに切れこみが ()。 ・ しりびれのはばが ()。

3 メダカのおすとめすを見分けましょう。おすのメダカを丸で囲みましょう。



4 水草に産みつけられたたまごについて、教科書P.48を参考にして調べてまとめましょう。

- ・めすがたまご(()ともいう)を産み、おすが()を出します。たまごと精子が結びつくと、たまごの中で変化が始まります。
- ・たまごと精子が結びつくことを()といい、受精したたまごのことを()といいます。

家庭学習プリント【5年理科 No.9 生命のつながり(2)メダカのたんじょう】(教科書 p.48~51)

5年()組()番 名前()

○ メダカの卵の変化《p.48 参照》

問題 メダカのたまごは、どのように変化して、子メダカになるのだろうか。

1 予想しよう

こん虫や植物を育てたときの経験から、予想しましょう。

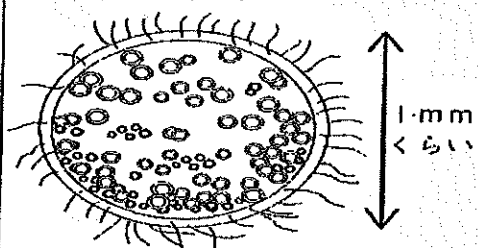
2 確かめよう《p.50、p.51 参照》

たまごを育てて、メダカになるまでの変化のようすを教科書を使って調べ、下の図にならって記録しましょう。

記録のポイント

日時、天気、気温を書く。

(6月19日) 午前10時
天気(くもり) 気温22℃



(気づいたこと)

水温は20℃。たまごの色はすき通っていて、丸い形をしていた。たまごの長さは1mmくらいで、中にあわのつぶのようなものがあった。

絵はなるべく大きくかく。

たまごの色、形、大きさ、中のようすを言葉で書き、変化したところを比べられるようにする。

① 産みつけられてから、4・5日目ごろのようす

(月 日) 時	(気づいたこと)
天気 () 気温 ℃	

② 産みつけられてから、6～8日目のようす

(月 日) 時	(気づいたこと)
天気 () 気温 ℃	

③ たまごのまくを破って出てくるときのようす

(月 日) 時	(気づいたこと)
天気 () 気温 ℃	

☆ 水草に産みつけられたたまごについて、() の中にあてはまる言葉を書き入れよう。

- メダカは、たまごの中で少しずつ変化して、() と似たすがたになり、やがてたまごの () を破ってたんじょうする。これを () という。
- ふ化する前のメダカは、たまごの中の () で成長している。また、ふ化したばかりの子メダカは、しばらくの間、ふくらんだ () の中にある () を使って育つ。

家庭学習プリント【5年理科 No. 10 生命のつながり(2)メダカのたんじょう】(教科書 p. 52~55)

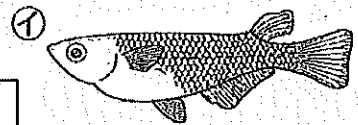
5年 () 組 () 番 名前 ()

1 教科書P53ページ「日本のメダカ」「地域のメダカを守ろう」を読みましょう。

2 学んだことを確かめましょう。

① メダカのおすとめすは、体のようすにちがひがあります。㊦と㊧のどちらがおすと、どちらがめすでしょうか。()にあてはまる言葉を書きましょう。

㊦が () で、㊧が ()



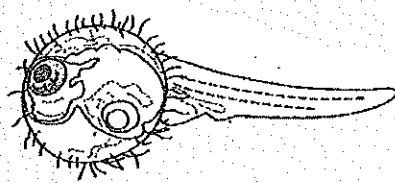
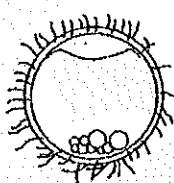
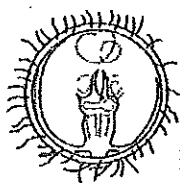
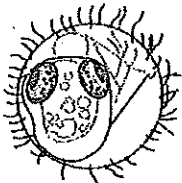
また、その理由について説明をしました。()に当てはまる言葉を書きましょう。

めすは () に切れ込みがなく。()
のはばがおすとよりもせまいから。

② メダカのたまごについてまとめました。()にあてはまる言葉を書きましょう。

メダカは、めすがたまごを産み、おすが () を出します。これらが結びつく
と、たまごの中で変化が始まります。これらが結びつくことを () といい、
結びついたたまごを () といいます。

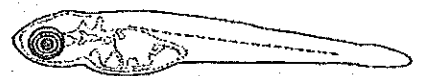
③ メダカがたまごからふ化するまでの順に㊦から㊩をならべましょう。



㊦ () → () → () → () ㊩

④ ふ化したばかりのメダカは、はらがふくらんでいます。その理由を説明しました。()に当てはまる言葉を書きましょう。

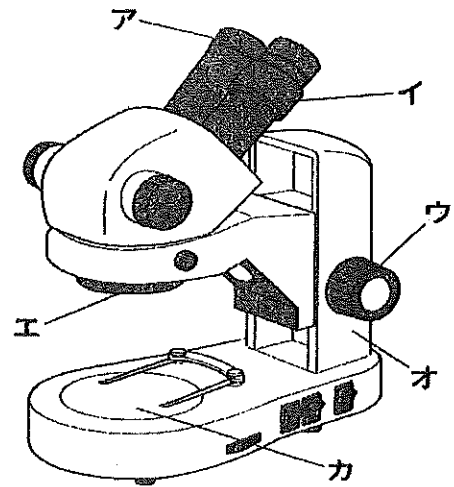
ふくらんだはらには、() がたくわえられて
いて、ふかしたばかりの子メダカが、しばらくの間その
() を使って育つから。



3 教科書P55ページ「メダカの形がちがうわけ」を読みましょう。

4 そう眼実体けんび鏡がんにじったい きょうと解ぼうけんび鏡さんしょうの使い方を調べましょう。《教科書 p.179 参照》

① 右のそう眼実体けんび鏡のア～カの部分を、それぞれ何とといいますか。ア～カに当てはまる部分を書きましょう。



- ア ()
- イ ()
- ウ ()
- エ ()
- オ ()
- カ ()

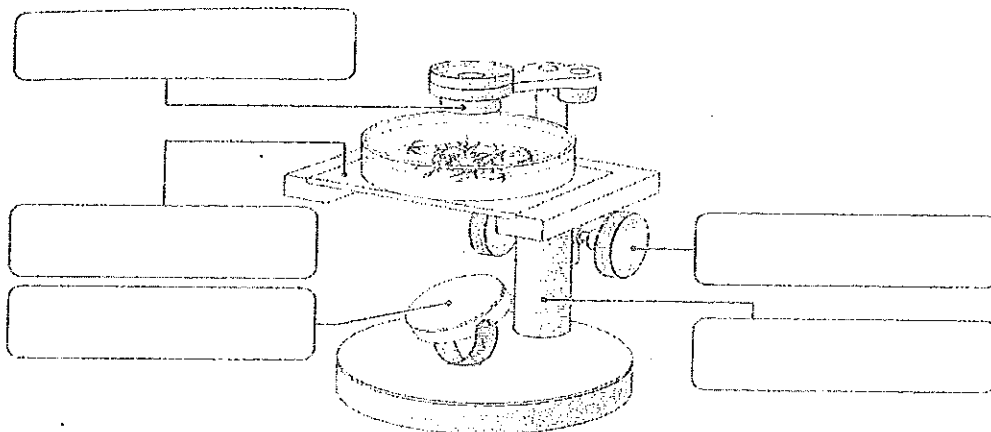
② そう眼実体けんび鏡の使い方について、() に当てはまる部分を書き、説明しましょう。

ア () のはばをおおよそ目のはばに合わせ、() で見る。見えているものが1つに重なるようにはばを調節する。

イ 右目でのぞきながら () を回して、はっきり見えるように調節する。左目でのぞきながら、() を回して、はっきり見えるように調節する。

ウ 観察したい部分が、() の真下にくるようにして観察する。

③ 下の図の解ぼうけんび鏡の□の部分、それぞれ何とといいますか。□に当てはまる部分を書きましょう。



④ 解ぼうけんび鏡の使い方について、() に当てはまる部分を書き、説明しましょう。

ア () の向きを調節し、上からのぞいたときに、明るく見えるようにする。

イ 見るものを () の上に置く。

ウ 観察したい部分が () の真下にくるようにする。

エ () で接眼レンズせつがんを上げ下げして、よく見えるようにする。